

# ゲーム分析の研究を より良いコーチングの 実践に生かす

専門分野 バレーボール、教授法、コーチ学、ゲーム分析

担当科目 スポーツゲーム分析論特論など

バレーボールを中心に、さまざまな球技種目のゲーム分析を行っています。ゲームの分析方法は数多く存在しますが、私の研究室で活用するのは録画された試合映像を観察して、試合場面の選手パフォーマンスを評価して、チームや選手の戦術評価、技術評価を行うことが基本となります。それらの結果と試合の勝敗、競技順位との関係を明らかにして、競技に役立つような情報を提示することがゲーム分析的研究の目的であると考えています。このほか、コーチングにおける指導言語についての研究にも取り組んでいます。優秀な指導者や経験豊富な指導者はどのようにアドバイスをしているのか。非常に興味深いテーマです。初心者にはどのような指導が有効なのか、熟練者にはどのようなタイミングでアドバイスするのか、指導者が多くの指導経験から学ばれた知恵が存在するはず。一般的には、初心者への指導では、運動の準備局面に関係する指導が頻繁に行われているようです。熟練者には主要局面に関係する指導言葉が有効で、戦術的アドバイスの頻度が高いようです。このように「ゲーム分析」と「指導言葉」の2つの研究テーマを中心に授業を展開しています。

授業では、分析シートの作成や技術パフォーマンスの評価項目の設定などを課題にして、ゲーム分析の方法論を中心に講義しています。最終課題として、バドミントンゲームを受講生に行わせ、そのゲーム分析課題からグラフ作成とレポート報告を行っています。研究の成果や分析結果などをわかりやすく説明できる工夫が必要です。指導者をめざす皆さんには、研究と実践、双方を重視しお互いを結びつけながら、より良い指導を行う術を体得していただきたいと考えています。

## キーワード

### ■ゲーム分析

試合場面の諸々のプレー事象を数量化することによって、客観性のある情報を作り出すひとつの方法である。

### ■技術・戦術の分類

各種球技の技術的特徴を理解し、球技種目で共通する戦術的「ねらい」やその球技独特の戦術について理解を深めることが必要である。

### ■パフォーマンス評価

ゲーム場面で発揮される選手パフォーマンスを評価して、選手やチームの課題を数値化して客観的なデータとして整理することが重要である。

### ■コーチングの実践

ゲーム分析により明らかとなった結果を、選手やチームにわかりやすい資料として提示して、実際のコーチング現場に利用できるようにすることが必要である。

## 浅井 正仁 教授

### 略歴

筑波大学体育専門学群卒業。大阪体育大学男子バレーボール部コーチ・監督・部長、関西大学バレーボール連盟理事長、西日本大学バレーボール連盟理事長、全日本大学バレーボール連盟副理事長などを務める。2004年より大阪体育大学大学院を担当。

### 著書

[ステップアップ中学体育] (共著・大修館書店・2017年)  
[ステップアップ高校体育] (共著・大修館書店・2017年)